

2012年1月



年頭にあたって

代表理事組合長 高橋 光秀

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新年を御家族お揃いで迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は自然災害に見舞われた1年でした。台風や大雨、洪水、そして誰も予想しなかった3月11日の東日本大震災とそれに続く福島原発の放射能漏れは、世界中を激震させる大きな出来事でありました。1日も早く復興し、平穏な日本に戻るよう切に願うところです。

昨年の営農を振り返りますと、春先の低温と多雨により播種作業が大幅に遅れ生育が停滞、その後の回復で出来秋への期待が膨らみましたが、収穫期の不安定な気象により一部の作目で品質や収量面で満足が出来ない結果となり、大変残念なことでありました。畜産・酪農面でも一昨年の猛暑、そして放射性物質の影響で枝肉価格が低迷、さらに生産資材価格の高止まり等厳しい経営を強いられた1年でした。

このような状況下ではありましたが、当組合の本年度収支見通しは当初事業計画を概ね達成できるものと考えております。このことは組合員の皆様方の各事業部門に対する御理解・御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

農業を取り巻く情勢については、戸別所得補償制度が2年目を迎え、TPP（環太平洋連携協定）は昨年11月のAPEC首脳会談で加入に向けて協議に入る旨の政府の方針が示されました。例外なき関税の撤廃は農業ばかりでなく地域産業をも崩壊させる、いわば国の形を変えるような重大な問題であり、組合員の皆様と共に系統組織を挙げて、国民の世論をも巻き込みながら断固として反対運動に取り組んでいかなければならないと考えております。

今後、私たちの環境は大きく変化することが予想され、この不透明な時期だからこそ組合員・役員・職員がお互いの役割を再認識し、心をひとつにして足腰の強い組合づくりに邁進していかなければなりません。

今年は当組合の向こう5年間の道標ともいべき中長期計画の策定年に当たります。皆様の声を聞きながら組合が取り組むべき課題、事業目標を設定していきたいと考えております。また新人事管理制度も4月からスタート、職員の資質向上と組合員の意識改革に鋭意取り組んでまいります。

最後に本年が皆様方と共に豊穡の秋を迎えられる事と、併せて組合員・御家族の御健勝を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

女性部だより

友の会が料理講習



友の会は11月25日、牛乳・乳製品を使った料理講習会を開催しました。牛乳消費拡大の一環として、ホクレンの助成を受けて実施。洋風混ぜご飯やごぼうのポタージュなど4品の料理を仕上げました。

銀鈴会 健康体操と「ふまねっと」体験



女性部銀鈴会の冬期研修が12月12日、幕別温泉ホテル悠湯館で開催され、会員11名が健康体操や「ふまねっと」の体験を行いました。

健康体操は幕別町の保健士を講師に、簡単に家庭でできる体操など手軽に体を動かすポイントを学び、続く「ふまねっと」は今年で4回目の講習となり、幕別町内の指導員の指導を受けリズムに合わせてステップを踏みました。

研修の後は総会が行なわれ、次年度の役員体制について白木艶子会長、篠島美子副会長の留任を決めました。

十勝地区女性協議会 まんぷくフェスタ大盛況



「フードバレー十勝食彩祭 オール十勝まんぷくフェスタ2011」が11月19日に帯広競馬場で開幕され、十勝産農畜産物の販売や、クイズなどのイベントを展開し、大勢の来場者が十勝の豊かな食材を楽しんでいました。

19市町村でつくとかちの魅力発信プロジェクト推進協議会の主催で25店舗が出店し、JA十勝地区女性協議会が飲食の提供で参加しました。札内農協女性部からも2名が参加し、「シチュー」「おしるこ」（1日200食限定）などが人気を集めていました。